

## 様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

## 特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 16 日

(あて先) 姫路市長

提出者

住所

姫路市北条1080-2

氏名(法人にあつては名称及び代表者の氏名)

フジコー 株式会社

代表取締役社長 藤井 茂樹

電話番号

079-288-3800

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称

フジコー 株式会社

事業場の所在地

姫路市北条1080-2

計画期間

令和5年4月1日 から 令和6年3月31日

## 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類

電気めっき業 (2464)

② 事業の規模

20.0億円

③ 従業員数

97人

④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程

別紙 ①の通り

(日本工業規格 A列4番)

## 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 ② の通り

## 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

## 【前年度(令和 4 年度)実績】

特別管理産業廃棄物の種類	7100 強酸	7110強酸(有)	7200強アルカ	7210強アルカ(有)	7426汚泥(有)
排 出 量	9.7 t	42.4 t	11.3 t	0.5 t	20.0 t

(これまでに実施した取組)

処理液は、定期的な液分析データに基づき液の維持管理を行い、ろ過装置も利用し、処理液の更新期間延長対策に取り組んでいる。脱鉄装置を導入し、クロム酸を工場内で再利用できるようにしている。処理液以外の廃棄物は分別により排出量削減に努めている。

②計画

## 【目 標】

特別管理産業廃棄物の種類	7100 強酸	7110強酸(有)	7200強アルカ	7210強アルカ(有)	7426汚泥(有)
排 出 量	10.0 t	50.0 t	5.0 t	2.0 t	20.0 t

(今後実施する予定の取組)

処理液は維持管理等により更新期間の延長対策に取り組む。また、更新時期も計画的に考えていく。その他廃棄物は、分別の徹底で排出量削減に努める。液の再生を検討している。

## 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

特別管理産業廃棄物は、委託処理の種類及び専用容器・ドラム等に分別、カード等で管理物表示し、管理徹底に努めている。再生できる液は、限界まで再生し使用するよう検討する。

②計画

(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

上記取組を継続していく。

## (第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	【前年度(令和 4 年度)実績】					
	特別管理産業廃棄物の種類	7100 強酸	7110強酸(有)	7200強アルカ	7210強アルカ(有)	7426汚泥(有)
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)					
なし						
②計画	【目 標】					
	特別管理産業廃棄物の種類	7100 強酸	7110強酸(有)	7200強アルカ	7210強アルカ(有)	7426汚泥(有)
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	5.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)					
脱鉄装置を利用し、クロム再生に努める						
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項						
①現状	【前年度(令和 4 年度)実績】					
	特別管理産業廃棄物の種類	7100 強酸	7110強酸(有)	7200強アルカ	7210強アルカ(有)	7426汚泥(有)
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
(これまでに実施した取組)						
なし						
②計画	【目 標】					
	特別管理産業廃棄物の種類	7100 強酸	7110強酸(有)	7200強アルカ	7210強アルカ(有)	7426汚泥(有)
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
(今後実施する予定の取組)						
なし						

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項						
①現状	【前年度(令和 4 年度)実績】					
	特別管理産業廃棄物の種類	7100 強酸	7110強酸(有)	7200強アルカ	7210強アルカ(有)	7426汚泥(有)
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)					
なし						
②計画	【目 標】					
	特別管理産業廃棄物の種類	7100 強酸	7110強酸(有)	7200強アルカ	7210強アルカ(有)	7426汚泥(有)
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)					
なし						
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度(令和 4 年度)実績】					
	特別管理産業廃棄物の種類	7100 強酸	7110強酸(有)	7200強アルカ	7210強アルカ(有)	7426汚泥(有)
	全処理委託量	8.7 t	42.4 t	11.3 t	0.5 t	20.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	8.7 t	42.4 t	11.3 t	0.5 t	20.0 t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
(これまでに実施した取組)						
優良認定処理業者に全量処理委託している。						

②計画	<b>【目標】</b>					
	特別管理産業廃棄物の種類	7100 強酸	7110強酸(有)	7200強アルカリ	7210強アルカリ(有)	7426汚泥(有)
	全処理委託量	10.0 t	20.0 t	5.0 t	2.0 t	20.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	10.0 t	20.0 t	5.0 t	2.0 t	20.0 t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
(今後実施する予定の取組)						
優良認定処理業者への処理委託を継続						
電子情報処理組織の使用に関する事項	<b>【前年度(令和 4 年度)実績】</b>					
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)				82.886 t	
	(今後実施する予定の取組等)					
実施済みで、今後も実施予定						
※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条)の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

別添 一覧表

(廃棄物処理法-特別管理産業廃棄物処理計画書)

実績：前年度（令和4年度）実績量

目標：今年度（令和5年度）目標量

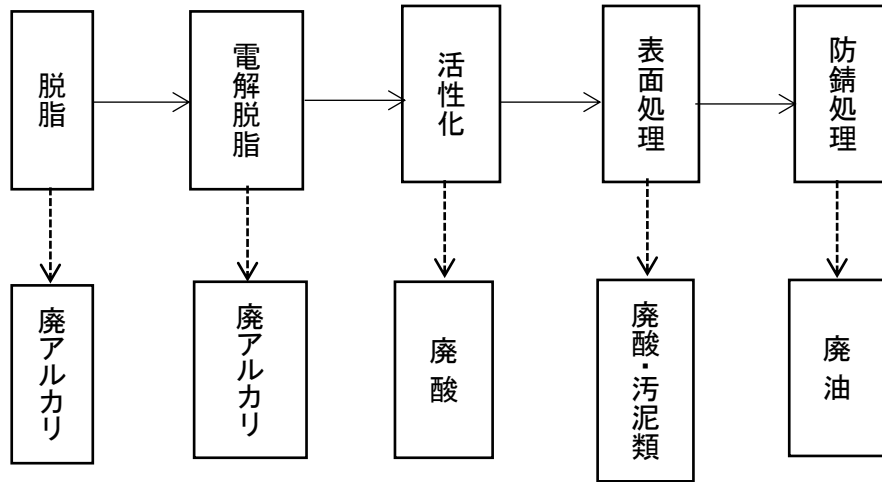
単位：トン／年

特別管理産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項										
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)		
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
pH2.0以下の廃酸	7100	8.66	10	0	0	0	0	0	0	0	0	8.66	10	8.66	10	0	0	0	0	0	0
pH2.0以下の廃酸(基準値を超える有害物質を含む)	7110	42.429	20	0	0	0	0	0	0	0	0	42.429	20	42.429	20	0	0	0	0	0	0
pH12.5以上の廃アルカリ	7200	11.292	5	0	0	0	0	0	0	0	0	11.292	5	11.292	5	0	0	0	0	0	0
pH12.5以上の廃アルカリ(基準値を超える有害物質を含むもの)	7210	0.529	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0.529	2	0.529	2	0	0	0	0	0	0
汚泥(基準値を超える有害物質を含むもの)	7426	19.976	20	0	0	0	0	0	0	0	0	19.976	20	19.976	20	0	0	0	0	0	0
合計		82.886	57	0	0	0	0	0	0	0	0	82.886	57	82.886	57	0	0	0	0	0	0

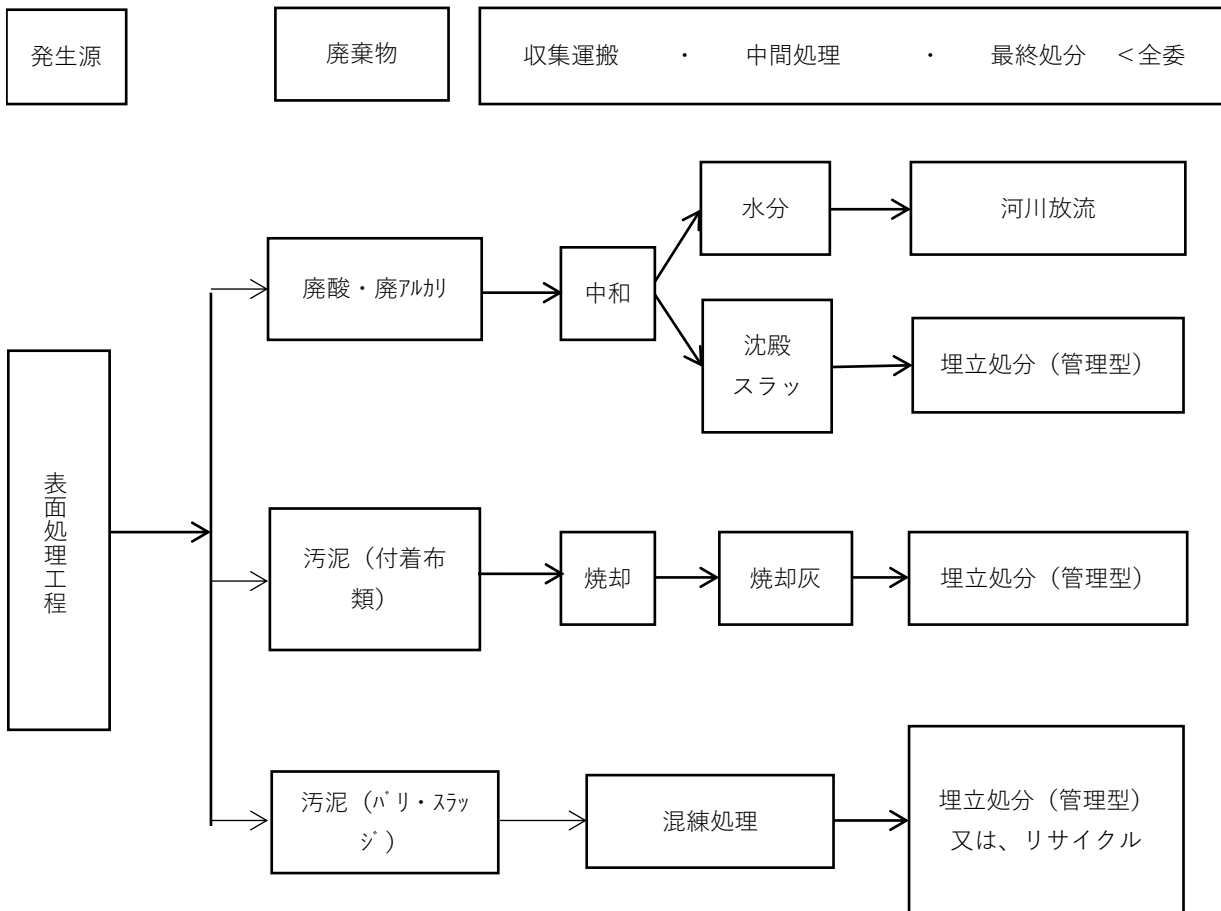
別紙

① 当該事業所において現に行っている事業に関する事項

○ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程



( 処理フロー )





② 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理組織図)

